

# 絵本の物語，言葉と，語りがそれぞれ持つ役割

## ーファンタジーを育む新たな療育用の絵本を作るための考察ー

塩田 翔一

(東海学院大学人間関係学部心理学科)

### 要 約

ファンタジーは、架空の世界の登場人物と自己を同一視し、その世界に没入する心的体験と定義され、神経基盤として背外側前頭前野が、生理学的基盤としてエンケファリンとオキシトシンが報告される。近年、精神疾患の中核的症状とファンタジーの変異性の関連も示唆される。ファンタジーを育むことは生まれつきの躓きを抱えた子どもの健やかな成長にとって大切である。本稿では絵本の物語，言葉と，語りがそれぞれ持つ役割について概観し，新たな療育手法として絵本の可能性を考察する。

キーワード：ファンタジー，絵本，言葉，物語，語り

### 1. ファンタジーの心理・神経・生理学的基盤と絵本

ファンタジーは、物語，映画等の架空の世界の登場人物と自己を同一視し、その世界に没入していく心的体験と定義され、その神経基盤として背外側前頭前野が役割を担う (Banissy, et al., 2012; Cheetham et al., 2014; Davis, 1980, 1983). その生理学的基盤として、エンケファリンを含むオピオイドはファンタジーを高め (Bershad et al., 2016), オキシトシンはファンタジーを低減させる (Montag et al., 2020) ことがそれぞれ示される。ファンタジーは心の中のキャンパスのようなものであり、そこに自己や他者等の登場人物を描くことができる。このキャンパスは人々を出来事にかかる主観的世界へ引き込む (Shiota & Nomura, 2022). そして、誰しもがこのキャンパスに描かれた自己や他者を観察することで、気づき (メタ認知) を得る。

近年、精神疾患の抱える中核的症状とファンタジーの変異性の関連が示唆される (Anugu et al., 2021; Crepaldi et al., 2020; Goldingay et al., 2015; Hadoush et al., 2020; Makkar et al., 2022; Shaw et al., 2005; Thorp et al., 1995; Vyshedskiy, 2021). 例えば、自閉症スペクトラム症 (autism spectrum disorder; 以下 ASD) の抱える社会的コミュニケーションと対人相互作用の障害とファンタジーの躓きにかかる先行研究として、Goldingay et al., (2013) は、ASD を抱える実験参加者にオリジナルの映画を製作してもらう実験を行った。こ

の映画は、登場人物や物語を参加者自身が自由に想像、計画するものであった。主な結果として、実験前後で実験参加者の協調性や共感性が改善した。神経学的検討として、Hadoush et al., (2020) は、ASD を抱える子どもの両側背外側前頭前野へ陽極の経頭蓋直流電気刺激法を用いた介入実験を行った。介入前後で ASD を抱える子どもの社会性や身体状態が改善した。生理学的検討として、Anugu et al., (2023) は、低用量の naltrexone が ASD を抱える実験参加者の他者との関係性を改善させることを報告した。

以上のことを踏まえると、ファンタジーを育むことは、生まれつきの躓きを抱えた子どもの心身の健やかな成長にとって大切であること、長期的な介入によってその症状を緩和させることがそれぞれ示唆される。ファンタジーを育む介入法の一つとして絵本が示唆される。絵本は、主に子どもを対象とし、視覚的、言語的な物語をその内容として含んだ本である (Ganea et al., 2008). 絵本は読み手をファンタジーな世界へ導き (Sundmark, 2019), その中で読み手が得た情報は、知識として現実世界において適応される (Ganea et al., 2008). 一方で、絵本を構成する言葉、物語と、語りがそれぞれ持つ役割については不明瞭な点が多い。非侵襲的かつ簡便な療育法として用いる新たな絵本を製作するために、本稿では絵本の物語，言葉と，語りがそれぞれ持つ役割について概観する。

## 2. 物語が持つ役割

ユーモア、童話、幽霊、恐竜等、絵本には数多くの部類がある。好まれる（人気のある）物語について検討した先行研究（Maharjan et al., 2017）によると、童話が他の部類に当てはまる物語と比べてより好まれることが明らかになった。Maharjan et al., (2017) は、内容にかかる道筋や、登場人物の成長が物語の重要な要因であることも報告した。Wang et al., (2020) は、物語を読む中で読み手に起こる感情の変化を、広く好まれる本と好まれない本と比較検討した。主な結果として、好まれない本の物語は感情の変動が非常に激しいのに対し、広く好まれる本は物語全体を通し全ての感情が非常に安定していることを明らかにした。Wang et al., (2020) は、特に幼少期の子どもは、まるでジェットコースターのように感情が変動することを好まないこと、むしろ感情の変動がそれほど激しくなく、温かく前向きな感情を伴う物語を好むことを言及した。

これらの知見に基づくと、新しい絵本の物語は登場人物が物語の中で成長するようなフィクション（想像）の物語でなければならない。また、物語の内容は感情の変動が激しいものではなく、聖書や仏典のような温かく前向きな感情を表現するものとする。では、新しい絵本ではどのような言葉を用いれば良いのか、物語に含まれるどのような言語的特徴が人々に受け入れられやすいのか、ファンタジーを育む言葉とはどのようなものがあるのか。次節において、絵本に用いられる言葉の役割について概観する。

## 3. 絵本という言葉が持つ役割

物語と同様に、言語的特徴も本の好まれやすさを高めることが報告される（Jin & Liu, 2022）。どのような言葉を用いることで、より広く読まれる本になるのか。Jin & Liu (2022) によると、本をより親しみやすいものにするためには、単語の複雑さ（単語の習得年齢）と文章の意味上の一貫性が重割を果たすことが示された。Jin & Liu (2022) は、より広く読まれる本は、簡単な言葉が良く用いられていることを報告した。簡単な言葉を用いることにより、読み手が単語の理解に認知的資源を多く費やす必要がなく、文章の情報処理、内容にかかる記憶の検索や情報の統合などの認知的な処理により集中できるようになることが示唆される（Jin & Liu, 2022）。Ashok et al., (2013) によると、人気のある物語は、そうでない物語と比べてより多くの名詞が用いられ、動詞は少ないことが

示された。名詞は身体感覚器官と関連付けられる可能性が高いが、動詞は感覚器官に依存しない（Mestres-Missé et al., 2010）。名詞をより多く用い、動詞を少なくすることは、読み手に物語に登場する対象の静的な内面に目を向けさせ、その動作にはあまり焦点を当てさせないことと、読み手が登場人物の心情や状況の構築をより容易に想像できることに寄与する（Jin & Liu, 2022）。そして、読み手は登場人物の感情を自分自身に置き換えて想像し始めるようになる。Johnson (2013) によれば、イメージにかかる schema は概念を構造化し、心を推論する際に重要な役割を果たす。Schema が我々に概念の認識、秩序や、つながりをもたらすのである。形容詞は概念を説明し区別するために不可欠である（Davies et al., 2020）。Jun et al., (2023) は、形容詞の知覚とイメージ schema に関連する心的活動との関係を調査した。結果として、形容詞による表現は schema にかかる心的活動と関連していることが示された。では、どのような言葉が人々をファンタジーな世界へ誘うのか。この点について、Fiedler (2019) は、幻想的な物語に必要な言葉について、以下の事項を指摘した。第一に、物語のために作り出された言葉は明確な起源があり、これが言葉を特別なものとする。第二に、物語のために作成された単語は、その物語の中のみでの使用に限定されることなく、現実世界で用いられる単語、または実用的な単語となる可能性がある。三つ目は、少なくとも物語の支持者の間で、作中で用いられた単語を言葉遊び等に用いる程度の動機づけが得られることである。四つ目の点は、架空の言語によって形作られた世界と現実の世界とを明確に区別することが困難であることが挙げられる。これらが、新たな言葉によってファンタジーの世界を形作るために必要な事項である。

以上を踏まえると、絵本で用いられる言葉は子ども達の年齢に合ったその意味が明瞭に理解できるものでなくてはならない。ついで、登場人物の心情や、物語で展開される状況を想像するために動詞を減らし、名詞と形容詞を増やすことも求められる。そして、子ども達をファンタジーな世界に誘うような新しい言葉を生み出すことも必要である。これまで、絵本の物語と言葉の役割について説明してきた。次節では、物語を導く語りの役割について論じる。

## 4. 絵本の語りが持つ役割

語りの視点は、読み手の心の中で起こる物語の表現と

文章の読み方へ影響を与える (Brunyé et al., 2016; Brunyé et al., 2009; Child et al., 2018; Jin & Liu, 2022). 語りにかかる視点は、物語の基本的な要素の一つであり、読み手に対する物語の印象を形作る (Rall & Harris, 2000). 例えば、Brunyé et al., (2016) は、単純な動作の文章を読む際の語りの視点 (一人称視点と二人称視点) にかかる作用を検討した。主な結果として、一人称視点は二人称視点と比較して、内容に対し共感的に読むことが明らかとなった。Child et al., (2018) は、語りの視点の差異が、文章に対する読み手の感情の処理過程にもたらす作用を検討した。特にポジティブな文章を一人称視点で語る際に、感情処理が容易になることが明らかになった。Jin & Liu (2022) は、広く読まれている本は、そうではない本と比べてより一人称視点をを用いていることを報告した。これらのことから、一人称視点の語りは読みやすく、物語の登場人物へ感情移入しやすいことが示唆される。

## 5. まとめ

本稿では、ファンタジーにかかる神経・生理学的基盤、精神疾患が抱える中核的症状とファンタジーの変異性の関わりと、ファンタジーを育む介入法として、絵本の可能性をそれぞれ概観した。特に、新たな療育用の絵本を作成する為に重要なこととして、世界で最も読まれている本 (聖書, 仏教経典) で使用されている形容詞, 動詞, 名詞の割合を把握することが挙げられる。次に、ファンタジーの世界へ誘う造語を作成しなければならない。そして、物語は聖書や仏教の経典のように、温かく前向きな感情を呼び起こすものとしなければならない。語りは一人称視点で作成する必要がある。これらの事項を踏まえて作成された絵本の効果を心理学, 生理学的, 神経学的観点から検証し, 多彩なエビデンスを得なければならない。

## 6. 謝辞

本稿を作成するにあたり、これまで温かくご指導くださった全ての方々に深く感謝を申し上げます。

## 7. 引用文献

Anugu, V., Ringhisen, J., & Johnson, B. (2021). Autism case report: cause and treatment of “high opioid tone” autism. *Frontiers in psychology*, *12*, 657952.

Ashok, V. G., Feng, S., & Choi, Y. (2013). Success with style: Using writing style to predict the success of

novels. *Proceedings of the 2013 conference on empirical methods in natural language processing*, 1753-1764.

- Banissy, M. J., Kanai, R., Walsh, V., & Rees, G. (2012). Inter-individual differences in empathy are reflected in human brain structure. *Neuroimage*, *62*(3), 2034-2039.
- Bershad, A. K., Seiden, J. A., & de Wit, H. (2016). Effects of buprenorphine on responses to social stimuli in healthy adults. *Psychoneuroendocrinology*, *63*, 43-49.
- Brunyé, T. T., Ditman, T., Giles, G. E., Holmes, A., & Taylor, H. A. (2016). Mentally simulating narrative perspective is not universal or necessary for language comprehension. *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, *42*(10), 1592.
- Brunyé, T. T., Ditman, T., Mahoney, C. R., Augustyn, J. S., & Taylor, H. A. (2009). When you and I share perspectives: Pronouns modulate perspective taking during narrative comprehension. *Psychological Science*, *20*(1), 27-32.
- Cheetham, M., Hänggi, J., & Jancke, L. (2014). Identifying with fictive characters: structural brain correlates of the personality trait ‘fantasy’. *Social cognitive and affective neuroscience*, *9*(11), 1836-1844.
- Child, S., Oakhill, J., & Garnham, A. (2018). You’re the emotional one: the role of perspective for emotion processing in reading comprehension. *Language, Cognition and Neuroscience*, *33*(7), 878-889.
- Crepaldi, M., Colombo, V., Mottura, S., Baldassini, D., Sacco, M., Cancer, A., & Antonietti, A. (2020). Antonyms: a computer game to improve inhibitory control of impulsivity in children with attention deficit/hyperactivity disorder (ADHD). *Information*, *11*(4), 230.
- Davies, C., Lingwood, J., & Arunachalam, S. (2020). Adjective forms and functions in British English child-directed speech. *Journal of child language*, *47*(1), 159-185.
- Davis, M. H. (1980). A multidimensional approach to individual differences in empathy.
- Davis, M. H. (1983). The effects of dispositional empathy on emotional reactions and helping: A multidimensional approach. *Journal of personality*, *51*(2), 167-184.

- Fiedler, S. (2019). Planned languages and languages created for fantasy and science-fiction literature or films: A study on some points of contact. *Jezyk. Komunikacja. Informacja*, (14), 139-154.
- Ganea, P. A., Pickard, M. B., & DeLoache, J. S. (2008). Transfer between picture books and the real world by very young children. *Journal of cognition and development*, 9(1), 46-66.
- Goldingay, S., Stagnitti, K., Sheppard, L., McGillivray, J., McLean, B., & Pepin, G. (2015). An intervention to improve social participation for adolescents with autism spectrum disorder: Pilot study. *Developmental neurorehabilitation*, 18(2), 122-130.
- Hadoush, H., Nazzal, M., Almasri, N. A., Khalil, H., & Alafeef, M. (2020). Therapeutic effects of bilateral anodal transcranial direct current stimulation on prefrontal and motor cortical areas in children with autism spectrum disorders: a pilot study. *Autism Research*, 13(5), 828-836.
- Jin, J., & Liu, S. (2022). An analysis of the linguistic features of popular Chinese online fantasy novels. *Discourse Processes*, 59(4), 326-344.
- Johnson, M. (2013). *The body in the mind: The bodily basis of meaning, imagination, and reason*. University of Chicago press.
- Johnson, M. (2013). *The body in the mind: The bodily basis of meaning, imagination, and reason*. University of Chicago press.
- Jun, Z., Lahlou, H., & Azam, Y. (2023). Image schemas in the Great Gatsby: A cognitive linguistic analysis of the protagonist's psychological movement. *Cogent Arts & Humanities*, 10(2), 2278265.
- Maharjan, S., Arevalo, J., Montes, M., González, F. A., & Solorio, T. (2017). A multi-task approach to predict likability of books. *Proceedings of the 15th Conference of the European Chapter of the Association for Computational Linguistics*, (1), 1217-1227.
- Makkar, M., Arumugam, N., & Midha, D. (2022). Transcranial Direct Current Stimulation as an Effective Treatment Compared to Video Games on Executive Functions in Children With Attention Deficit Hyperactivity Disorder. *Iranian Rehabilitation Journal*, 20(2), 199-208.
- Mestres-Missé, A., Rodriguez-Fornells, A., & Münte, T. F. (2010). Neural differences in the mapping of verb and noun concepts onto novel words. *NeuroImage*, 49(3), 2826-2835.
- Montag, C., Schöner, J., Speck, L. G., Just, S., Stuke, F., Rentzsch, J., Gallinat, J., & Majić, T. (2020). Peripheral oxytocin is inversely correlated with cognitive, but not emotional empathy in schizophrenia. *Plos one*, 15(4), e0231257.
- Shaw, R., Grayson, A., & Lewis, V. (2005). Inhibition, ADHD, and computer games: The inhibitory performance of children with ADHD on computerized tasks and games. *Journal of attention disorders*, 8(4), 160-168.
- Shiota, S., & Nomura, M. (2022). Role of fantasy in emotional clarity and emotional regulation in empathy: A preliminary study. *Frontiers in Psychology*, 13, 912165.
- Sundmark, B. (2019). maps in children's books: From play world and childhood geography to comic Fantasy and picturebook art. *Filoteknos*, (9).
- Thorp, D. M., Stahmer, A. C., & Schreibman, L. (1995). Effects of sociodramatic play training on children with autism. *Journal of autism and developmental disorders*, 25(3), 265-282.
- Vyshedskiy, A. (2021). Imagination in Autism: A Chance to Improve Early Language Therapy. *Healthcare*, 9(1), 63.
- Wang, X., Zhang, S., & Smetannikov, I. (2020). Fiction popularity prediction based on emotion analysis. *Proceedings of the 2020 1st International Conference on Control, Robotics and Intelligent System*, 169-175.

The Role of Story, Words, and  
Narration in Picture Books  
— Considerations for the  
Development of a New  
Therapeutic Picture Book that  
Fosters Fantasy —

SHIOTA Shoichi